

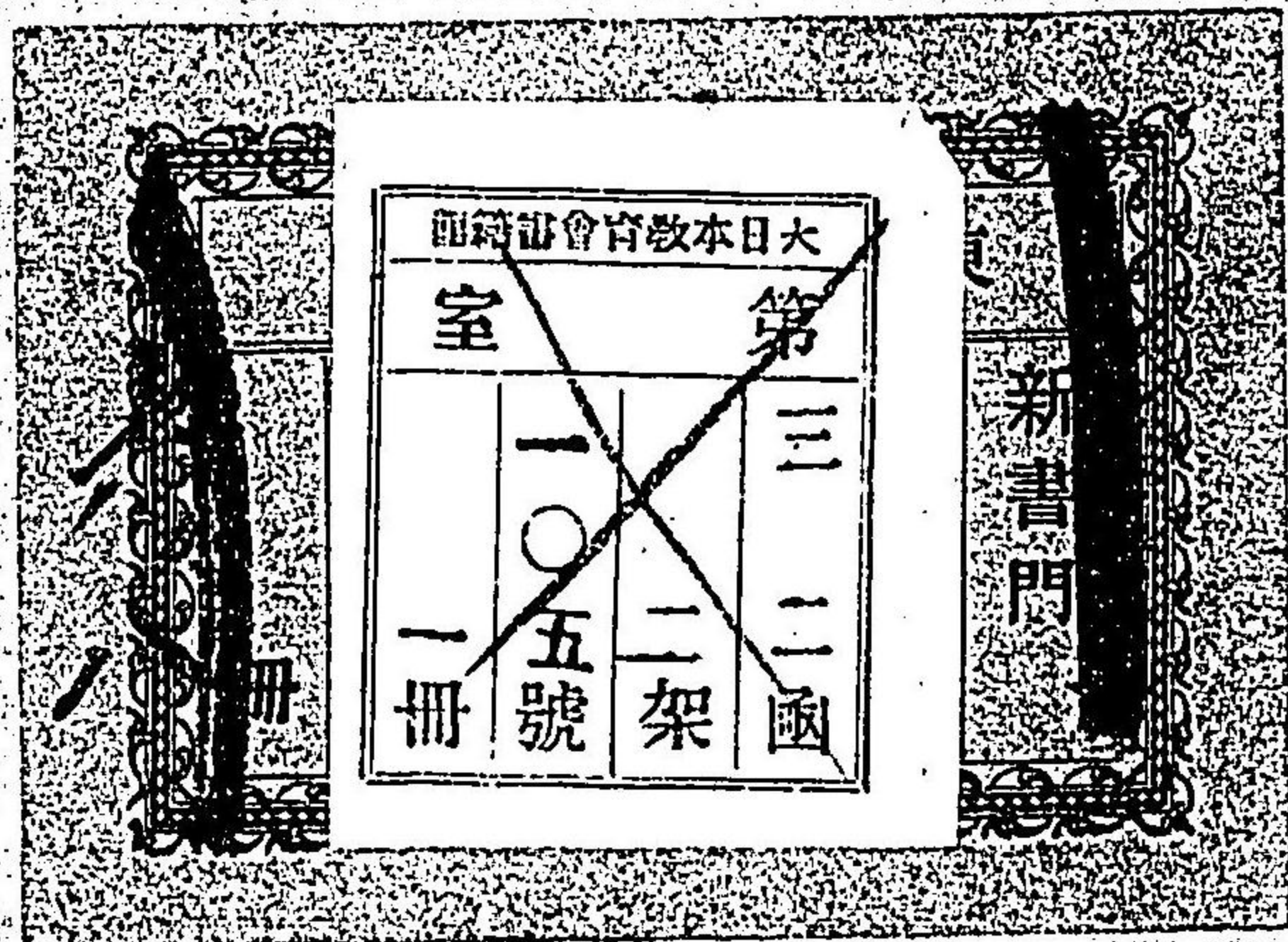
滋賀縣
管内
野洲郡地誌

山本清之進編輯

全

特31

235



025484-000-2

特31-235

滋賀県管内野洲郡地誌

山本 清之進/著

M17

ADC-2939



版 權 所 有

山本清之進編輯

滋賀縣
管內里
野洲郡地誌
全

明治十七年
二月刊行
書林有慶堂藏版

卷三十一

蘭香

蘭香

蘭香要

蘭香

要

明治二十七年二月

易年也類



序

小學教則課地理學欲使生徒諸知山嶽河川驛路邑里之位置名稱也方今地理之書陸續出世或記一府縣風土或誌全國及海外地理而至一郡一鄉則畧焉於是向小學生徒試問地理往々明於遠而暗於近是皆可謂愆本末者矣抑學問秩序在於自近及遠如地理學尤然吾友山本崇齋

君有見于此嘗著栗太郡誌今又撰野洲郡地誌乞序于予閱之簡而不遺略而有要蓋欲資小學課業也今以此書為地學階梯先熟知其近者而後及其遠則庶幾乎無愆本末之弊歟

明治十七年一月 静里野史撰



滋賀縣管内野洲郡地誌

近江 山本清之進 著

野洲郡ハ近江國ノ南部ニ位スル最小郡ニシテ東ハ蒲生郡ニ接シ南ハ甲賀郡ニ連リ西南ハ栗太郡ニ隣リ西北ハ琵琶湖ニ瀕ス南部ニ一帯ノ山脉ヲ連亘シ北部ニ野洲岬アリテ湖中ニ突出ス土地平坦ニシテ肥沃ナリ人口三万八千二百零八人戸數八千零二十七戸反別八千百四十七町五反廿二步地價金三百九十四万八千三百七十一圓三十七錢ナリ

人民ハ一般ニ耕種ヲ業ト為スト雖北部ハ概ス
 漁魚ヲ兼又又間高業ニ從事スルモノアリ民情
 東北ハ淳朴ニシテ西南ハ稍伶俐ナリトス
 三上山ハ野洲川上流ノ東ニ屹立シ其形富士ニ
 似タリ故ニ近江富士ノ名アリ又俗ニ蜈蚣山ト
 云フ直立千百八十八尺ニシテ登路十八町アリ
 櫻山ハ南櫻村ノ東ニアリ頂ヲ以テ野洲甲賀ノ
 界トス

妙光寺山ハ三上山ノ東ニ在リ山脉連亘シテ東
 ニ赴キ小篠原村ノ東南ニ至リ又聳ヘテ田中山

野洲川ヨリ三上山ヲ望ム圖

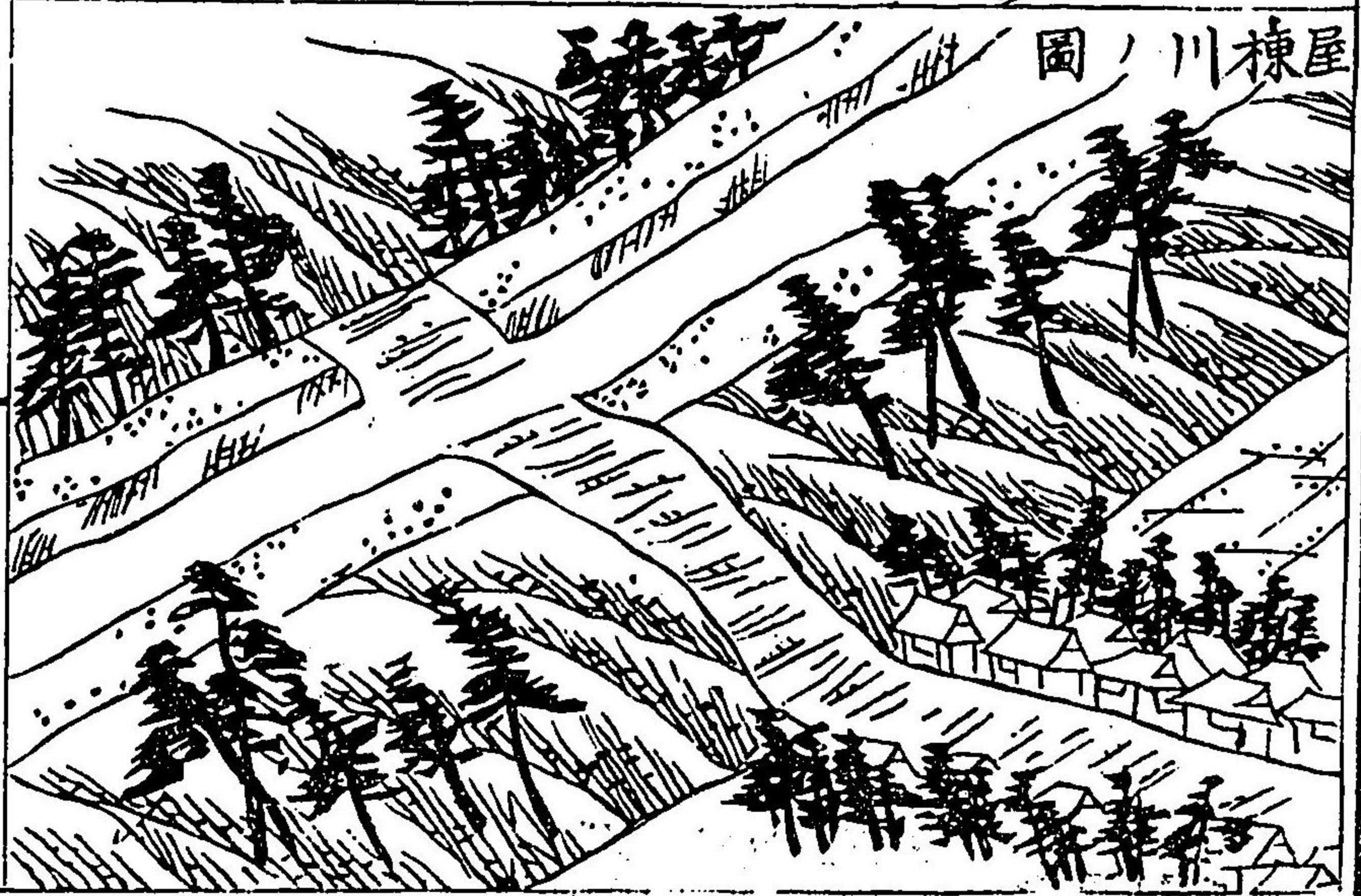


城山等トナリ延テ蒲生
 郡ノ鏡山ニ接ス
 野洲川ハ甲賀郡横田川
 ノ下流ニシテ南櫻村ノ
 南ヨリ三上山ノ西ヲ過
 キ野洲村ヲ經テ川田村
 ニ至リ川脉西北ニ分派
 シ北流ハ吉川村ヨリ湖
 ニ入り西流ハ洲本今濱
 西村ノ間ヲ過キ今濱新

田ヨリ湖ニ注ク川尾ノ湖中ニ斗出スル所即チ
 野洲岬ニシテ滋賀郡堅田浦ト相對シ水程僅ニ
 十八町ナリ水源ヨリ此ニ至ル凡ソ十五里幅ノ
 廣キ所凡ソ四五町狹キモ一二町ニ下ラス本川
 灌溉ノ利ヲ蒙ル郡中ノ耕田十ノ五六ニ居ル
 仁保川ハ蒲生郡日野川ノ下流ニシテ入町村ノ
 東ヨリ十五町小南西村ノ間ヲ過キ小田村ノ西
 ヲ經テ佐波江村ヨリ湖ニ注ク
 屋棟川ハ櫻、妙光寺、田中山等ノ諸山ニ発源シ小
 堤村ノ西ヲ過キ富波、永原、西村ノ間ヲ經テ童子

川ト合シ木部村ノ東ニ
 至リ野田村ヨリ湖ニ入
 ル此川平日一滴ノ水流
 ナク一旦暴雨ニ遭ヘハ
 水勢怒漲シ年々沙泥ヲ
 堆積シ川底高クシテ人
 家ノ棟ヲ過ク故ニ名ク
 ト云フ

童子川ハ市三宅村ノ北
 ヲリ溝渠集リテ川脉ト



ナリ東流シテ永原村ノ北ニ至リ屋棟川ト合ス
守山川ハ一二吉川ト称ス栗太郡勝部、浮氣両村
ノ間ヨリ湧出スル野泉ノ末流ニシテ三宅村ノ
西ヲ過キ西流シテ森川原村ヨリ湖ニ注ク野洲
栗太ノ郡界ニ沿流スル川ナリ
道路ハ守山村ヨリ吉身村ヲ過キ野洲川ヲ横断
シ野洲、行畑、小篠原辻町、ノ諸村ヲ経テ屋棟川ヲ
超ヘ小堤、大篠原、ノ二村ヲ貫キ蒲生郡鏡村ニ入
ル之ヲ仲山道トス又行畑村ヨリ支別シ久ノ部
村ノ南ヲ過キ富波村ニ至リ屋棟川ヲ横截シ永



仲山道、朝鮮人街道分派ノ図

原村ヲ貫キ小南村ノ東
ニ至リ仁保川ヲ涉リ十
王町江頭ノ二村ヲ経テ
蒲生郡田中江村ニ入ル
之ヲ朝鮮人街道トス往
時封建ノ世朝鮮人ノ幕
府ニ参候スル必ス此道
ニ據ル故ニ名クト云フ
畷ハ行畑村ヨリ富波村
ニ至ル間ノ街道ヲ久ノ

部畷ト云フ長サ九ノ十町永原村ヨリ小南村ニ至ル間ヲ深澤畷ト云フ長サ六町餘ナリ

村落ハ總テ七十八ヶ村トス仲山道ニ浴在スルモノハ守山、吉身、野洲、行畑、小篠原、辻町、小堤、大篠原、ノハヶ村トス行畑村ハ元ト行合、中畑、ノ西村ナリシカ維新後合シテ一村トナシ又小篠原村ハ元ト櫻生ヲ合シテ一村トナル

仲山道ノ以南ニシテ野洲川ノ西ニアルモノハ立入、岡、ノ二ヶ村トス西南ニ河流ヲ狹ンテ栗太郡出庭、浮氣、ノ西村ト相望ム野洲川ノ東ニアル

モノハ南櫻、北櫻、妙光寺、三上、ノ四ヶ村トス妙光寺村ハ元ト三上村ニ属セシカ元和六年分レテ一村トナル此四ヶ村ハ三上、櫻、妙光寺、等諸山ノ四麓ニ散在スルヲ以テ柴薪ノ富、郡中ニ甲タリ仲山道ト朝鮮人街道トノ間ニアルモノハ上屋、高木、長嶋、入町、ノ四ヶ村トス上屋村ハ元ト上永原、紺屋町、ノ西村ナリシカ維新後合シテ一村トナル入町村ハ本郡ノ極東ニ在リテ蒲生郡安養寺、鏡、ノ西村ト其境ヲ接ス

仲山道ノ以北ニシテ野洲川ノ西ニアルモノハ

金ヶ森、三宅、大林、欲賀、森川原、山賀、杉江、赤ノ井、木濱、洲本、矢島、十二里、石田、荒見、笠原、今市、中村、川田、小嶋、播磨田ノ二十ヶ村トス洲本村ハ元ト開墾、洲本ノ兩村ナリシカ維新後合シテ一村トナル、荒見村ハ往昔荒蕪ノ地ナリシヲ田中某ナルモノ開墾シ一村落ト為セシカ慶長年中洪水ノ為ニ廢絶シ元和年中杉本某再墾シテ漸ク今日ノ村況ニ至ル今市村ハ寛文年中山本某北村某ノ二人協同シテ播磨田村ノ西北ナル荒野ヲ開墾シ人民移住シテ一村落トナリ正保二年ニ至

リ始テ村稱ヲ付ス金ヶ森、三宅、大林、欲賀、森川原ノ五ヶ村ハ野洲栗太兩郡ノ境ニ沿在シ森川原、山賀、杉江、赤ノ井、木濱、洲本ノ六ヶ村ハ湖水ニ瀕シ魚蝦ノ産獲々乏シカラスト云フ野洲川西北西流ノ間ニ散在スルモノハ新庄、服部、立田、水保、今濱、幸津川、小濱、吉川ノ八ヶ村トス新庄村ハ維新後、竹生ヲ令シテ一村トナシ立田村ハ元ト立花、戸田ノ兩村ナリシカ又合セテ一村トナル新庄、服部、立田ヲ除クノ外ハ皆沿湖ノ村ニシテ民業半ハ漁魚ニ在リ

朝鮮人街道ニ沿在スル
 モノハ富波、永原、小南、十
 王町、江頭、ノ五ヶ村トス
 富波村ハ澤、新町、ノ二ヶ
 村ナリシヲ明治五年合
 セテ一村トナシ今ノ名
 ニ改ム江頭村ハ本郡ノ
 極北ニシテ湖水ニ枕マ
 蒲生郡田中江村ニ接ス
 其盛ナル守山村ニ亞キ

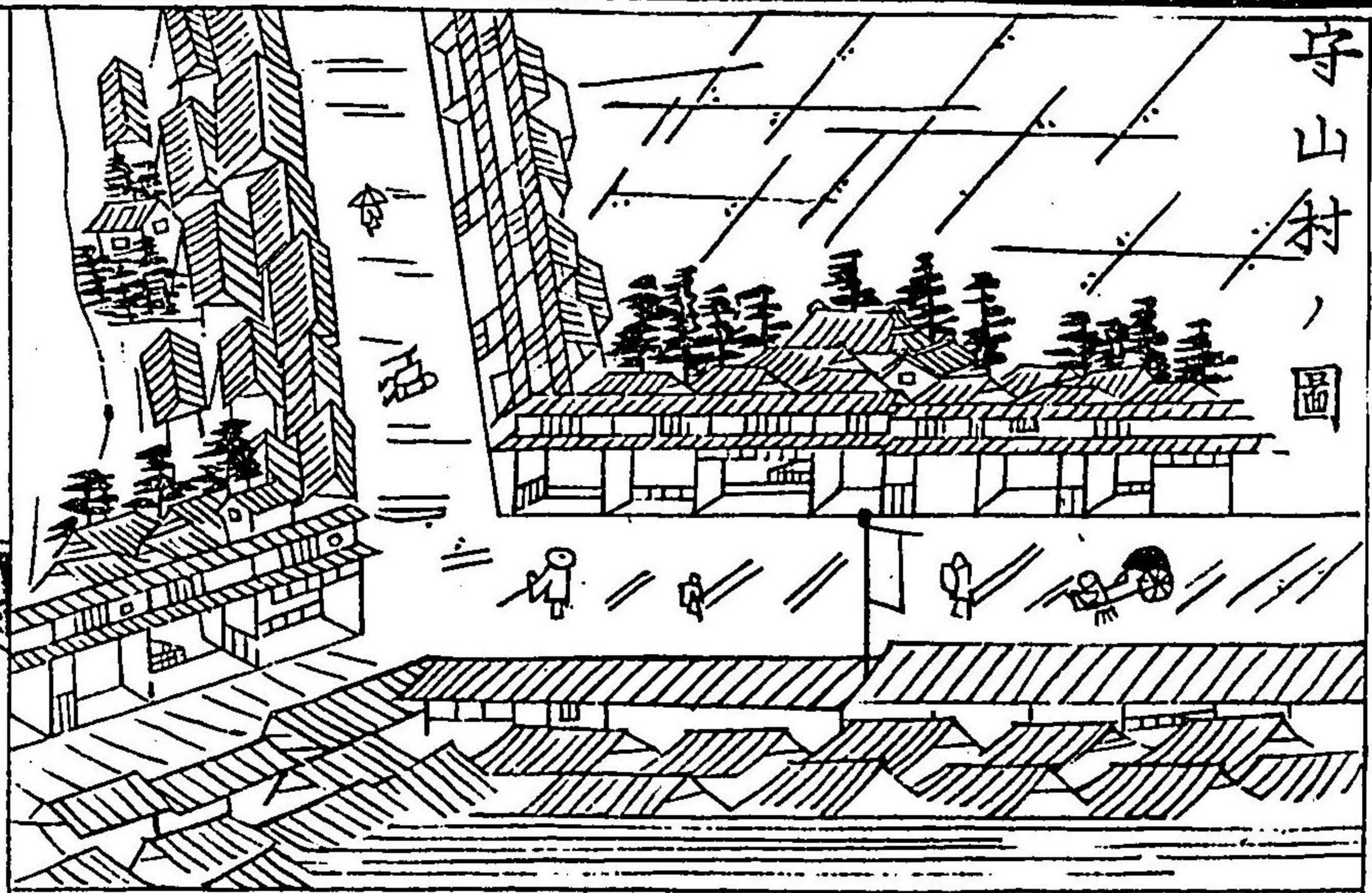
江頭村ノ圖



巨高豪農ノアル郡中ノ諸村其右ニ出ルモノナ
 シ
 朝鮮人街道ノ以北ニシテ野洲川ノ北流ト屋棟
 川トノ間ニ散在スルモノハ久ノ部、五ノ里、市三
 宅、比江、八夫、虫生、木部、比留田、西河原、小比江、北比
 江、乙窪、吉地、六條、井口、堤、菖蒲、喜合、新田、須原、安澄
 五條、野田、ノ二十二ヶ村トス北比江村ハ元ト小
 比江、乙窪、西村ニ属セシカ明治十六年西村ノ北
 部ヲ割キ一村トナル菖蒲村ハ往時荒蕪ノ地ナ
 リシヲ某ナル者開墾シ終ニ珠玖某ノ所有地ニ

歸シ人戸漸ク増殖シ明治八年始メテ一村ヲ特
稱ス喜合新田ハ吉川村ニ屬シ往時大久保某十
ル者ノ閑墾地ニシテ屢水害ヲ被リ人民為ニ蕃
殖セザリシカ近時漸ク挽回シ明治十一年分
シテ今ノ名ヲ稱ス堤、菅蒲、喜合、須原、安治、五條、野
田、ノハケ村ハ共ニ湖岸ニ沿在シテ採藻、漁、奠ノ
便最モ良トス

朝鮮人街道ノ以北ニシテ屋棟川ト仁保川トノ
間ニ在ルモノハ北村、中北ノ二ヶ村ナリ仁保川
ノ東ニ在ルモノハ小田、野村、佐波江ノ三ヶ村ト



守山村ノ圖

ス佐波江村ハ本郡東北
ノ極端ニ在リテ元ト野
村ニ屬セシカ明治六年
分レテ一村トナル此三
ヶ村ハ皆湖水ニ瀕シ耕
渙相半ハス
村落ノ最モ大ニ且盛ナ
ルモノハ守山村トス此
村ハ本郡ノ西端ニ在リ
一葦ノ川流ヲ隔テ、栗

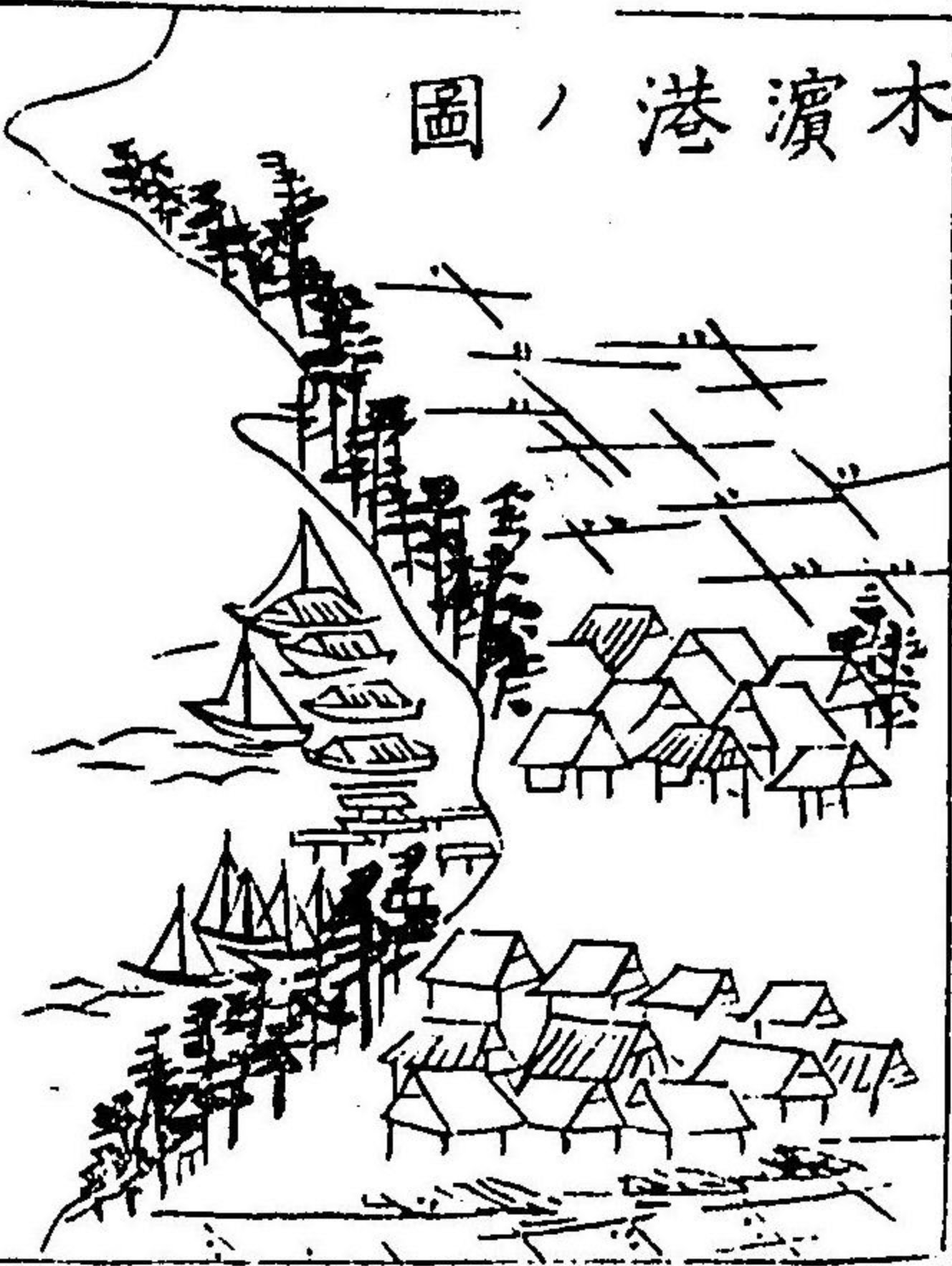
太郡今宿村ニ連ル神社五坐、寺院十一ヶ寺、警察分署、郵便局、小學校、等ヲ置ク、人口ハ一千四百三十八、戸數ハ三百十五、ナリ、往時ハ客舎軒ヲ並ヘ、車馬陸續タル驛地ナリシカ、維新已還、旅客ノ往來漸ク鮮キカ、故ニ民業多クハ農商ニ轉シ、市街ノ景況亦一變セリ、然リト雖、百貨ノ肆店、輻湊スルヲ以テ、郡民ノ來リテ物品ヲ購求スルモノ、日ニ踵ヲ接セリ。

津港ハ木濱村、赤ノ井村、江頭村、等ニアリ、皆航湖ノ要津ト雖、多クハ物貨ノ運輸ニシテ、其乗客ノ

如キハ、太々希ナリ、近時、大津ヨリ湖北ニ通航スルノ汽船、赤ノ井村ニ停錨スルヲ以テ、大ニ便ヲ得タリト云フ。

神社ハ、總テ百十二坐アリ、三上村御上神社、五條村、兵主神社、杉江村、小津神社、吉身村、馬路石部神社ヲ郷社トス。

木濱港ノ圖



滋賀縣志 里洲郡地誌 八



御上神社ハ祭神天御影
 命ニシテ元正天皇養老
 元年ノ創立園融帝ノ勅
 願所ナリ建久元年源頼
 朝三千餘貫ノ地ヲ寄附
 シ又足利豊臣等モ寄附
 スル所アリシト云フ
 兵主神社ハ祭神大己貴
 命ニシテ欽明天皇御宇
 ノ創立ナリ治業四年高

倉天皇兵主太神宮ノ勅額ヲ賜フ兵主神社ハ諸
 國二十八ヶ所アリシが大社ノ列ニ入ルモノハ
 大和國穴師兵主神社ト本社トナリ
 小津神社ハ祭神宇加之御魂神ニシテ創立年月
 詳カナラス往昔玉津正一位小津神社ト称ス
 馬路石部神社ハ祭神速素戔男命大己貴命ニシ
 テ白鳳三年ノ鎮座ナリ
 寺院ハ總テ二百三十六宇アリ其最モ古ク且巨
 ナルモノハ錦織寺トス木部村ニアリ天安二年
 僧慈覺昆沙門天王ヲ此地ニ安置ス故ニ天安堂

ト称シ天台宗ナリシカ
 嘉禎元年僧親鸞別ニ一
 宇ヲ此地ニ建立セシヨ
 リ真宗ニ轉シ一派ノ本
 山トナリ末寺數十ヶ寺
 アリ曆仁元年四條天皇
 ヨリ勅額ヲ賜ヒ天神護
 法錦織之寺ト曰フ因テ
 今ノ名ニ改ムト云フ
 守山寺ハ天台宗ニシテ

錦織寺ノ圖



守山村ニ在リ延暦元年僧傳教ノ開基阪上田村
 磨ノ建立ニシテ桓武天皇ノ勅願所ナリ比叡山
 ノ正東ニ當ルヲ以テ又東門院ト云フ
 茲眼寺ハ天台宗ニシテ吉身村ニ在リ持統天皇
 七年ノ草創僧傳教ノ建立ナリ寺ニ帆柱觀音ノ
 像ヲ安置ス往昔僧傳教唐ヨリ歸朝ノ時舩中ニ
 於テ帆樁ヲ以テ彫刺セシモノト云フ
 少林寺ハ臨濟宗ニシテ矢島村ニ在リ僧一休ノ
 開基ニシテ創立年月詳カナラス
 常念寺ハ淨土宗ニシテ永原村ニアリ僧慈覺ノ

開基ニシテ元ト天台宗ナリシガ應永二年僧常
誓今ノ宗旨ニ轉ス

本派大谷派西真宗ノ別院ハ赤ノ井村ニ在リ本
派ノ別院ハ曆應元年僧存覺ノ創立ニシテ大谷
派ノ別院ハ慶長元年僧教如ノ創立ナリ

妙見堂ハ日蓮宗ニシテ文化四年遠藤氏ノ建立
ナリ三上山ノ半腹ニ在リ殿閣高ク聳ヘテ西南
ニ臨ミ野洲川ノ巨流其前ニ引キ眺望闊豁頗ル
佳景ノ勝地ナリ

學區ハ第一小學區ヨリ第三十三小學區ニ至ル

平宗盛墓ノ圖



公立小学三十三校アリ

久敬 杉江 醴泉 三宅 温知

赤ノ 琢磨 播磨 同化 川田

矢嶋 矢島 守山 守山 益行

野洲 坦明 三上 光徳 南櫻

篠原 小篠 正徳 永原 研精

北村 從進 野村 弘敷 小田

至誠 江頭 新明 町玉 明教

小南 獎風 原大篠 合化 江北比

放勲 北江 期成 八夫 涵養

比留 近思 野田 貫明西川 明德 須原 俊明 吉川 服部
服部 沅愛 川津 洲本 洲本 觀湖 今宿 木濱 木濱 種德
乙 窪ナリ

古跡ハ大篠原村ニ平宗盛清宗ノ墓アリ壽永元年間平氏擅浦ニ敗滅シ宗盛等捕ラレ鎌倉ニ檻送セラル而メ自殺スル能ハス源氏之ヲ京師ニ還シ遂ニ此地ニ殺ス墓ノ側ニ蛙不鳴池アリ宗盛ノ首ヲ此池ニ洗ヒシ時吠蛙其聲ヲ止ム故名クト云フ又首洗池ノ称アリ
足利義昭ノ寓址ハ矢島村ニアリ永正十年義昭

三好松永ノ乱ヲ避ケ細川藤孝ト近江ニ走リ此地ニ隠ル、年アリ松永等之ヲ聞キ六角義弼ヲシテ之ヲ圖ラシム義昭止マル能ハス藤孝ト夜湖水ニ舩シ若狹ニ逃ル舟中賦スル所ノ詩今尚世ニ傳唱ス
古城址ハ守山城ハ稻葉

足利義昭航湖圖



落鵬江湖暗結
愁孤舟一夜思
悠々天翁亦慰
吾生否月白
蘆花淺水秋
義昭

伊豫入道金森城ハ川那邊秀政市三宅城ハ三宅孝房木濱城ハ近藤秀成田中山城ハ永原越前守永原城ハ永原重尾櫻生城ハ澤彈正少弼ノ居リシ所ナリ

永原村ニ御茶屋御殿址在リ往時徳川家康大坂出軍ノ時暫ク此ニ駐在セシト云フ

遠藤氏ノ邸址ハ三上村ニ在リ永祿中美濃國ハ幡ヨリ此ニ移リ以後世々ノ居所トス封地一萬二千石ナリ維新後版圖ヲ奉還シテ滋賀縣ノ管スル所トナル

物産ハ小篠原村ノ糯米三上山ノ松茸野洲村ノ晒布矢嶋村ノ麻比留田村ノ布吉川村ノ鱒小堤村ノ燧等ナリ

滋賀縣管内野洲郡地誌終

滋賀縣管內

野洲郡地誌
十四

野洲郡全圖

學	大	大	村	沿	道	港	湖	川	山	九
校	寺	社	落	道	村	邑				例
•	台	天	○	□	〱	〱	〱	〱	〱	〱



野洲郡學區戶數人負一覽表 明治十六年一月一日現在

Table with columns for '學區' (School Districts), '幅員' (Area), '總戶數' (Total Households), '村名' (Village Name), '戶數' (Household Count), and '人口' (Population). Rows are categorized by school district numbers (e.g., 第一, 第二, 第三) and include a '合計' (Total) row. The table lists numerous villages such as 杉江, 山賀, 赤井, 赤井, 赤井, etc., with corresponding data for each category.

祢呼訓

野洲岬

浮氣

深澤

川

安治

天御影命

巳貴命

昆沙門天王

臨濟宗

蜈蚣山

行畑

富波

珠玖

御上

圜融帝

克師

真宗

平宗盛

屋棟川

仲山道

木濱

八夫

兵主

源頼朝

之御魂神

阪上田村磨

清宗

童子川

朝鮮人街道

十二里

乙窪

小津

足利

速素戔男命

檀浦

蛙不鳴池

市三宅

服部

喜合

馬路百部

豊臣

大

帆柱

帆檣

帆檣

滋賀縣管内 里沙君共言

義昭	細川藤孝	三好	六角義弼	若狹	稻
葉孝房	近藤秀成	彈正少弼	御茶屋御殿		
家康	晒布	鱒	燧		

明治十七年一月十四日出版々權御願

同 年二月十二日版權免許 定價金拾貳錢五厘

同 年二月廿八日刻成發兌

滋賀縣平民

編輯者 山本清之進

近江國栗太郡草津村第九百二十六番屋敷寄留

滋賀縣平民

出版人 古川伊助

近江國滋賀郡大津後在家町第八番屋敷

